

多久 議会だより



令和2年
6月定例会

第45号

議案質疑		P2
審査報告		P3
一般質問		P4～9
5月・7月臨時会		P10～11
まちで発見!		P12

5月・7月臨時会

主な議事日程

6月 5日	開会・提案理由説明
8～9日	議案研究
10日	議案質疑
11～12、15～16日	委員会審査
18～19、22日	一般質問
23日	討論・採決・閉会

令和2年6月市議会定例会は6月5日から23日まで(会期19日間)開かれました。

今回は11人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

また、市長から提出されました議案18件(条例16件、予算2件)について審議し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

野北 悟 議員

■新型コロナウイルス対策について

Q 厳しい状況の中、非常に重要なものであり、性質上対象者に対して速やかな支給が必要だが執行状況は。



A 商工業や対象の独自施策については、5/19受付開始6/8時点で104事業者から申請1820万円。申請事業者の約半数が前年月比50%減少の加算対象となっています。TAKU食プロジェクト応援事業補助金は、6/9時点で76店舗から69件の申請があり、支払いが完了。耕種農家については、出荷が現在も続いており、まだ申請は出されていません。

樺島 永二郎 議員(関連質疑)

■マイナンバーカードの利活用

Q マイナポイント事業に対する支援事業の内容は。



A チャージ、購入によって25%、上限5千円のマイナポイントを付与されるシステムで消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進、キャッシュレス決済基盤の構築を目的とします。

Q 庁舎1階に設置するマイナポイント支援ブースの人員体制、申請の流れは。

A 2名の職員で専用端末を使い、インターネット上での予約手続き申請サポートを行い、7月以降に申込み手続きサポートを行います。



■マイナンバーカードの交付推進

Q マイナポイントを活用することで、マイナンバーカードの申請者が増加することに対する人員体制、申請の流れは。

A 申請方法が分からない、申請の環境を持っていない方に対して、2名の職員で専用端末を使い、申請手続きのサポートを行い、マイナンバーカードを申請者が取得する際に、カードの暗証番号の設定作業やマイナポイント事業の説明、健康保険証としての利用手続きのサポートも行います。

牛島 和廣 議員

■マイナンバーカードの利活用

Q 今回のマイナンバーカードの利活用に係る予算の目的は。



A 9月から消費活性化、官民キャッシュレス決済基盤の構築を目的として国によるマイナポイント事業の実施、令和3年3月からマイナンバーカードを健康保険証として利用を目指す予定に伴い、マイナンバーカードの普及を促進するものです。

■マイナンバーカードの交付推進

Q マイナンバーカード交付推進の経費の内訳と特別定額給付金申請でのトラブルは。

A マイナポイント取得のため等、今後マイナンバーカード取得の増加が見込まれることから、会計年度任用職員の人件費を計上し、交付申請の支援を行います。また、マイナンバーカードを使った特別定額給付金の申請では、申請不備が数件あったがトラブルはあっておりません。



委員会審査報告

総務文教委員会審査報告

令和2年度東原庁舎西溪校
プール改築工事の請負契約
締結について

審査の過程で、工事請負業者指名については、市内企業育成のため、共同企業体での実施も検討していただきたいという意見がありました。慎重に審査した結果、全会一致で本案を原案どおり可決すべきものと決定しました。



〔閉会中審査報告〕

「国民スポーツ大会に向けた弓道場整備について」協議を行

い、担当課より、大会までのスケジュールや運営体制、弓道場の施設概要、建設工事費、財源内訳など説明を受けました。委員からは、校舎等解体工事の遅れによるスケジュールへの影響や実行委員会の組織体制、弓道場整備後の管理・運営体制、施設維持費用など質問があり、担当課からは、管理・運営体制について、多久市体育協会や弓道連盟と話し合いをしながら進めて行くとのことでした。

弓道場を効果的に活用していくためには、佐賀県弓道連盟と連携し、地域活性化に繋がる施設となるよう、引き続き委員会で審査を進めていきます。



産業厚生委員会審査報告

〔閉会中審査報告〕

「市立病院の今後のあり方」について、多久市と小城市による覚書を市側から提示されたのを受け、公的病院統合検討事業に係る建設候補地評価報告書に基づき検証を行いました。

疑問解消に至らなかった事項について、文書及び口頭による回答を市長に求め、意見交換を行い審査をしました。

候補地が適地であるのか市側からの回答を踏まえ検証を進めましたが、質問に対する現時点での回答では疑問の解消には至らず、適地とした根拠については、多久市内に残したいとの思い以外には見出せませんでした。

審査報告を議長に提出し、今後のあり方については、議長に委ねることとしました。

「多久市の基幹産業である農業について」は、市長に対し、新型コロナウイルス感染症に係る農業分野への多久市独自の事業継続支援対策に早急に取り組むよう文書で要請しました。今後、各関係団体と、意見交換を実施していきます。

「福祉サービスについては、多久市地域貢献推進協議会との意見交換会を実施し、福祉的交通手段の利便性の向上に向け、継続して検討を行っていきます。

意見書

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

子どもたちのゆたかな学びを実現するためや学校の働き方改革を実現するためには、加配措置ではなく抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠であり、教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

また教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

市政を問う

6月定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



平間 智治

コロナ禍での新生活様式について

平間 公民館等での感染予防対策は。

答弁 利用者には、3つの密を避ける、手洗い、手や指の消毒、せきエチケット、マスクの着用などの注意喚起を行っています。

独自対策について

平間 コロナの影響で和牛の売上減少に伴う、畜産農家支援と観光バス事業経営の低迷で補正予算を。

答弁 農業関係の予算については、ある程度、余裕を持った予算計上ですが、不足した場合は、地方創生臨時交付金での対応を考えている。

また観光バス事業については、国のGOTOキャンペーンや新たな補正等で計画している観光業務等を活用し利用促進等に努めます。

平間 GIGAスクール構想におけるオンライン授業の活用方法は。

答弁 オンライン授業の環境を整えば、学校が休校となっても学習を継続させることができ、直接人と対面しないので、例えば不登校傾向の児童生徒も授業に参加しやすくなります。GIGAスクール構想での1人1台端末では、オンライン授業の他にも、Aドットルや調べ学習のツールとしても利用でき、個々の興味、関心や能力に応じた学習が可能です。





牛島 和廣

コロナ禍での現状

牛島 マイナンバーカードの普及と利用の推進また高齢者への配慮はどうか。

答弁 国では、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるように準備を進めています。今年9月から期間限定ですが、消費の活性化とマイナンバーカードの普及の加速化、キャッシュレス決済基盤の構築を目的としてマイナポイント事業が取り組まれます。

カードの交付推進では来庁者向けに支援ブースを設け、その中でも特に高齢者の皆様へは、マイナンバーカードの内容、必要性や申請手続などについて親切丁寧な対応で推進を行います。また、動画やホームページ、行政放送などを通じて、あるいは出前講座等を行うなど考えています。

荒廃農地施設の管理状況

牛島 荒廃した農地の対策は。

答弁 就農者へのサポートとして、新規就農者への相談窓口を市農林課内に設置し、県、佐賀県農業協同組合、金融機関などの関係機関とワンストップで相談できる体制を取っており、この相談の中で農業技術、農地の確保、資金面の調達方法など、まずは農業経営ができる体制について相談を受けています。



防災避難所について



鷲崎 義彦

鷲崎 新型コロナウイルス感染症の対応を取り入れた避難所の検討、準備は。また、避難所等での設営訓練は。さらに、避難情報の理解促進、持つていくもの、避難所での新しい取り組み等の市民の方々への周知はどう行っているのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとしては、体調不良の方、あるいは妊産婦の方などは専用の避難所を設け、3密を避けて感染リスクを減らして対応していきたいと考えています。

さらに、専用避難所では、間仕切りと簡易ベッドを、全避難所には感染予防のためのマスクと消毒液、非接触型の体温計などを配置することとしています。

また、感染予防意識を高めていただくため、感染予防チラシ、健康チェック表を配布するとともに、正しい手の洗い方のポスターを掲示し

洗い消毒の徹底を呼びかけます。設営訓練の実施については、専用避難所において導入予定の間仕切りが納入され次第実施する予定です。新しい取り組みや避難所に持つていくもの等の周知については、市報やホームページ等で市民の方にお知らせします。



間仕切り設営訓練



中島 國孝

令和元年8月大雨災害の対応について

中島 復旧状況及び今後の復旧計画は。

答弁 5月末での復旧状況について、道路災害10か所が完了し、工事着手済13か所で着工率33%、河川災害の工事着手済6か所で着工率19%です。農地・農業用施設災害は13か所で完了をし、工事着手済8か所、着工率は9%です。林道施設災害は7か所完了し、工事着手済9か所で、着工率62%となっています。

今後の復旧計画については、公共土木施設災害復旧事業、農地・農業用施設災害復旧事業、林道施設災害復旧事業と共に被災年から3年間で完了することになっていますので令和2年度の完了を目指しています。しかしながら、市が行う災害復旧事業のほか佐賀県が行う災害復旧事業も多くあり、受注状況や気象状況によつては全ての箇所が令和2年度で完了することとは難しいことも考えられます。

中島 補助災害とならなかった箇所についての対応は。

答弁 補助対象外の復旧工事につきましても、多面的機能支払交付金や災害復旧事業の採択要件を有効に活用していきたいと考えております。今後、国や県などの関係機関に対しても災害復旧事業の要件緩和や新たな事業創設など要望していきたいと考えております。



中島 慶子

学校の二斉休校に伴う対応について

中島 義務教育学校の二斉休校による授業の遅れへの対応と感染防止対策の状況は。

答弁 3月の臨時休校では、9年生は入試直前でもあり、登校日を設け、入学試験に備え、他の学年では4月初めに前学年の補充学習を行いました。

4月からの臨時休校の対応として夏休み中に補充学習期間を設け、8月31日までに学習の遅れを取り戻します。1、2学期の始業式・終業式に給食を提供し、午後の授業を確保して補充学習時間に余裕を持たせています。

感染症防止対策として、家庭で健康状態把握のため検温を行なつて登校し、マスク着用を呼びかけます。学校では、アルコール消毒や石けんでの手洗いの励行とその指導に取り組んでいます。

学校生活では3密を避けるため、

席の間隔を空け、給食は一方方向に机を置き、静かに食べるなどの指導をしています。

また、教室や手洗い場、トイレを児童・生徒の下校後、教職員が分担し消毒を行い、感染防止に努めています。



【その他】

・学びの確保「オンライン学習」環境の導入

・男女共同参画の推進について



國信 好永

人口減少問題への対応について

國信 多久市の人口減少率が激しいが、行政の施策は。

答弁 現在、人口減少対策としましては、多久市定住促進条例を制定し、定住奨励金の制度を実施しています。これについては、多久市商工会や市内の不動産事業者と定期的に協議をする場を設け、よりよい定住政策となるよう2年ごとに制度の見直しを行い、新婚世帯や子育て世帯における制度の拡充を図っています。

また、メイプルタウン、中央公園東団地など住宅団地の分譲を実施するとともに、高校生までの医療費助成や児童センターの設置など、子育て環境の充実をはかり、企業誘致にも努めています。

今後、定住奨励金制度を改善し、空家バンクや移住体験住宅などの他の定住政策も併せて効果の増進を図りたいと考えています。また、福祉や教育などの充実した行政サービスと

の連携を積極的にアピールして、定住の政策と併せて効果が出るようにPRも行っていきたいと考えています。

さらに、市営住宅については、良好な住環境を維持するために長寿命化を図るとともに、随時整備や補修を行っています。



樺島 永二郎

地域おこし人材活用事業について

樺島 任期途中で退任した3名の原因は、それに対する対応策は。

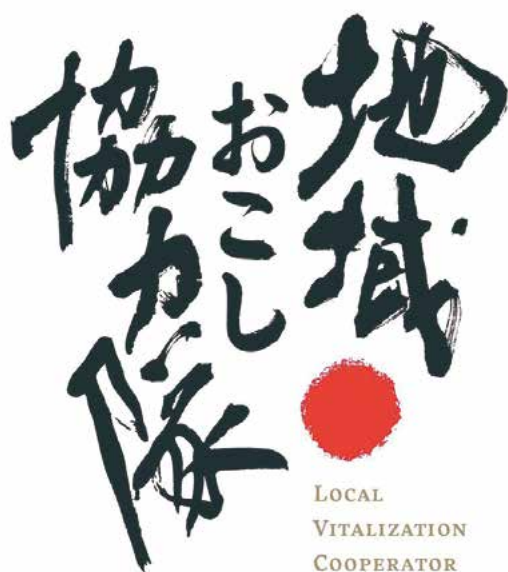
答弁 原因として、隊員の想いと、こちらの求めている部分が、活動を続けていく中でズレが生じたのではないかと受け止めています。

改善策として、現在、募集中ですが、明確に何をしてほしいというのを明記し募集をかけ、ズレが生じないようにする。また、募集時に詳細を示すのは限界があるので、採用時に、担当と話をしてズレを修正していきます。

樺島 隊員として活動し、その後に新たな事業を起こそうとする若者たちを束ねてサポートすることが自治体側に求められると思うが、移住してきた若者が挑戦する上で適切なサポート体制を考えているのか。

答弁 就業に向けての相談、アドバイスを行っており、支援するための補助金要綱等も設けています。また、協力隊員のスキルにもありますが、定着を最終的に目指して、その支援を行っていくことを考えています。

樺島 隊員として来てくれた、優秀な人材を、うまく活動できなかったと言うことにならないよう、対応していただきたい。





田 淵 厚

公共施設について

田淵 公共施設等総合管理計画に基づき劣化診断を実施されたが、その結果に基づき優先度など判断されたのか。

答弁 現地調査を行い健全度の点数化を終了し、構造躯体の健全性、長寿化判定などハード面の評価、利用状況、コストなどソフト面の評価、これを1次評価とし、公共性、効率性、有効性、代替性、特異性などの2次評価を行い、政策判断を加味し総合的な評価を行い、これを施設類型ごとに実施し、全類型での優先順位づけを今後行います。

田淵 多久市公共等施設総合管理計画を受け、公共施設の効率的、効果的な再配置を実現するための方向性は出ているか。

答弁 大筋の方向性としては、総合管理計画の第4章の保有資産の縮減、規模の適正化、また、保有資産の

長寿命化、機能維持を基本方針としています。

田淵 人口減少と少子高齢化の中、利用者数、財源、維持管理費はどうなるのかの方向性を示さないと、次の世代への負担になります。これからの施設について市民と話し合いながら、市民サービスの利便性を図る必要があると考えます。



古 賀 公 彦

スポーツ振興について

古賀 少子化での競技種目ジュニア育成について。

答弁 ジュニアの育成には指導者の存在が不可欠で、また少子化による部活動の部員の減少は希望するスポーツができないことが要因となっており、競技可能なスポーツを増やす為には総合型地域スポーツクラブと学校の連携が重要です。



古賀 競技力の向上について。

答弁 多久市体育協会に所属している各種目団体においてそれぞれ取り組まれており、多久市ではスポーツ団体の育成と競技力向上支援に取り組んでいます。

学校教育の現状と課題について

古賀 コロナ禍の状況下で家庭学習時間の低下はないのか、また教育指導はどのようにしているのか。

答弁 6年生と9年生の平日の家庭学習時間は、全国平均と比べて低く明らかな差があります。保護者へは家庭学習の指標として、学年に応じた家庭学習時間と家庭学習の取組例を提示しています。

古賀 いじめ問題に対して、どのような体制を整えているのか。

答弁 いじめが発生した場合、学校だけではなく警察や関係機関と連携して対応できるよう体制を整えています。



田中英行

鳥獣対策の取り組みについて

田中 多久市でもイノシシ減容化施設の建設はできないか。

答弁 多久小地域におきましては、捕獲駆除従事者の高齢化が進み埋却処分への労力負担が増しています。

埋却場所の選定、あるいは捕獲後の埋却の作業などの処理に大変苦労されていることもあり、同協議会におきまして、捕獲後の処理について、減容化施設を含め協議を行っているところです。また、施設整備以外にも捕獲後の処理を業者へ委託して処理する方法等もありますので、他市町や他県の処理方法も参考にしながら、問題解決に向け努力していきたいと思っています。



種苗法改正について

田中 今後の取組については。

答弁 一般品種である伝統野菜につきまして、今後種苗法が改正されても、自家増殖を含め利用制限はされないようになっています。

伝統野菜が持続的に地域で受け継がれ、発展していくような施策の一つの手段として、国のほうでも推進されている知的財産としての保護制度である地理的表示保護制度と地域団体商標制度の2つの保護制度を活用した取組の支援を行っています。



飯守康洋

多久市の「財政」に関して

飯守 以前から計画していた建物についての財政的な計画はどう考えているか。

答弁 中期財政計画はかなり綿密に詰めており、現在の中長期計画の中には、広域クリーンセンター関連、スポーツレクリエーション施設、図書館の建設に関わる費用や北多久公民館に関する費用も見通しとして入れています。

財源については、過疎債を中心とした様々な財源を活用することとしています。

新型コロナウイルス対策については、国からの交付金、ふるさと納税による基金に基づいて、第1次の22にわたる政策を実施したところです。

財政全般については、実質公債費比率をはじめ、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の4指標が極めて重要で、しっかりみていきたいと思っています。

また、経常収支比率については、概にこれで全ての財政状況がわかるということだけでなく、弾力性を見る指数ですので、それでいきなり破綻するとかいうことではありませんが、しっかりと財政が運営できるよう全力を尽くします。



5

月

臨

時

会

主な議事日程

5月 1日

開会
提案理由説明
議案質疑・討論・採決
閉会

令和2年5月市議会臨時会が5月1日(会期1日間)開かれました。

5月臨時会では、市長から提出されました議案10件(条例4件、予算6件)について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

令和2年度
一般会計補正予算(第1号)



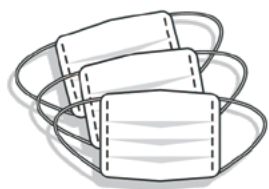
古賀 保健衛生費の新型コロナウイルス感染症対策事業の内容は。

答弁 分散勤務の為に機器購入及びWiFi環境整備、避難所対策として、非接触型体温計、間仕切り、簡易ベット、空気清浄機の購入となっています。



野北 国が給付する特別定額給付金をはじめ、様々な支援事業が提案されているが、予備費や費目内流用でコロナ対策に使ったものはないか。

答弁 災害備蓄用マスクの調達及び市内全戸配布の啓発用チラシで77万7千円を予備費から支出しています。



野北 コロナ禍の状況下で、人、物、金が動かず、経済活動がままならない状況が続くと予想されるが、内部でどのような検討がされているか。

また、令和2年度の予算はコロナウイルスの影響が出る前に作られたものなので、思い切った見直しが必要だと考えるが対応は。

答弁 状況を分析し、ニーズを踏まえて具体的な検討をしています。予算については、あまり例外は設けず、必要な手当てができるよう判断していきます。



平間 コロナ対策での軽症者の受け入れ問題などがありますが、市立病院が果たす役割は。

答弁 軽症者を小城市民病院と富士大和温泉病院が受け入れた際、既存の入院患者の転院受け入れ先の病院として要請が来ています。



平間 コロナ禍の状況の中、生活に支障が出た場合の相談先は。

答弁 生活に困った方には、社会福祉協議会で緊急の小口融資や、総合支援金の貸し付けを受け付けています。4月現在で27件相談を受け、17件の貸し付けが決定している状況です。

商工会でも資金繰りの相談が4月に24件ほどあり、商工会とも密に連絡を取りながら対策を練っています。



7

月

臨

時

会

主な議事日程

7月 6日	開会 提案理由説明・議案質疑
7～8日	委員会審査
9日	討論・採決・閉会

令和2年7月市議会臨時会は7月6日から9日まで（会期4日間）開かれました。

7月臨時会では、市長から提出されました議案3件（予算3件）について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

令和2年度
一般会計補正予算（第4号）



古賀 新しい生活
様式対策支援事業
の内容は。

答弁

新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の維持の両立を図るため、ガイドラインに沿った取り組みを行なう事業者に必要な経費を支援します。必要性の高い事業者として宿泊施設、観光バス、タクシー事業所に対し150万円、その他の事業所には50万円を上限として支援するもので商工会へ委託。また、市が所管する観光施設トイレの感染防止改修工事も含まれます。



平間 市内宿泊補助事業の内容と財源は。

答弁

市独自の宿泊補助事業として、市内宿泊施設ごとに設定する宿泊プラン利用者に対して事業者に対し1泊5千円を助成し、市内で利用できる団結クーポン券を2千円分渡すもので、財源は新型コロナウイルス

ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金になります。



野北 高齢者感染
予防対策事業で、非
接触型体温計を50
台購入し、サロン等

への貸し出しとあるが、地域自治会等から会議開催時の予防対策として貸し出し要請があった場合には対応するのか。

答弁

前回の独自支援の中で、サロン等、集いの場での感染防止にマスク、消毒薬等、コロナ予防セットを配布していますが、その際の意見として健康チェックに非接触型の体温計が欲しいと要望があり今回追加したものです。

実際には地区の公民館等で活動されるので其処での利用は可能だと考えます。



予算委員会審査における主な意見

GIGAスクール通信環境整備事業

●段階的な整備が計画されていたが、同時に全学年を対象に整備する事となり対応する教職員の負担が増えることが予測され、児童生徒に向き合う時間が減るのではないかと。

●タブレット端末を通し多様な情報に触れる事になる為、運用ルール、情報リテラシーも重要。

避難所感染防止対策事業

●災害庫購入について、購入費用が高額なため同機能で安価なものを再検討しては。

発熱外来対応について

●市立病院敷地内に仮設設置の予定だが、今後の状況を考慮し、常設にしては。

～江戸時代前中期の儒者であり、東原庵舎初代教授～



『川浪自安』

寛永12年(1635年)～享保4年(1719年)



川浪自安・質斎の墓

先月、多久聖廟近くの聖光寺南にある二千年ハスを見学に行ったときに並んで立つ古いお墓を見つけました。それは「川浪自安先生」とその養子「川浪質斎先生」のお墓でした。

川浪自安は佐賀郡八戸に生まれ、幼いときから学問が好きで、慶閭寺の輪安和尚に漢学を、松永宗雲に医術を習い、27歳の時に江戸にて吉田法印の門下生となり儒学を学びました。

31歳の時に郷里に帰り、多久3代領主・多久茂矩に医師として仕え、武富咸亮や実松元林(佐賀藩の儒学者で多久4代邑主多久茂文公の師)とも交際がありました。

多久4代領主・多久茂文が東原庵舎を設立すると、初代教授となりました。多久では武士の子は必ず東原庵舎で学ぶことを相続の条件とし、町人、百姓であっても学問を志す者すべてに入学を許していました。

このような邑民教育政策は次第に成果を出しはじめ幕末から明治にかけて開花していくこととなり、日本の近代化や郷土発展に尽力した人物を数多く輩出しました。

川浪自安は、道義心が強く人望が厚く、人々から尊敬され、模範的な学者として生活をしていました。

70歳になると、世の中との交わりを断ち、文を学び、書を読み、箏を弾き、茶花を生け、和歌を詠むような生活を送り、享保4年85歳で没し、多久聖廟北の松山墓所に葬られ、その後、聖光寺に移されました。



東原庵舎跡石碑

先家君自安先生墓誌



昭和52年松山墓所から、聖光寺に移す墓地改葬の折、墓誌が発見されました。墓誌は安山岩製で蓋と身からなり蓋の内側に「先家君自安先生墓誌」と刻まれ、身の凸面に誕生から没年までの経歴、功績などを360の文字で刻まれています。(※墓誌とは、埋葬された人物の名前・経歴・業績・年齢・死亡年月日などを銅板や石等に記し、遺体と共に地中に埋葬されたものです)

【多久議会だより第44号

掲載記事の訂正とお詫び

2020年5月1日発行の多久議会だより(第44号)の「多久市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例に対する反対討論」(P.5)の記事の中に誤りがありました。賛否票の議決結果が「**原案可決**」となっていました。訂正し、お詫びいたします。



議会広報委員会

委員長 樺島永二郎

副委員長 古賀公彦

委員 野北 悟

委員 田淵 厚

委員 香月 正則

委員 鷺崎 義彦

UD FONT

画やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に優しい植物油
インキを使用しています。

